

芸術の森地区町内会連合会

第10号

平成10年3月20日

発行 芸術の森地区
町内会連合会

印刷 (株) 辻 孔 版 社

広報

やませみ

地域を支える人



滝野地区発展に寄与 親子三代の郵便配達

滝野観光光有限会社 社長

堀井寅三郎氏

堀井寅三郎氏は一九二六年滝野生れ、父嘉七氏(故人)・黄綬褒章賜杯昭38、生存者叙勲七等青色桐葉章受章)の郵便配達請負業の家業を継ぎ平成九年まで常盤二号橋以南の山間僻地の配達を行いました。その間、滝野町

内会長に推され(昭五十三〜六十)、長期に亘り滝野地区発展の為大変ご苦労されたようです。特記すべきは、滝野カントリークラブ開設時の地域代表として交渉に当り同じく滝野霊園、国営すずらん公園の開発事業に伴う諸問題の解決の為、連日連夜、会議・交渉等地元代表として、活躍されました。特にゴルフ場開設の認可がおける迄の土地問題等解決の苦労は大変だったようで、カントリークラブ理事長町村金吾氏(当時参議員)が感謝状を出しその労をねぎらわれました。

又国営すずらん公園がオープンすると同時に町内会員を説得して、滝野観光株式会社を設立し地元住民が公園で働けるようになり、会員の推挙で現在も社長として、地域経済向上のため活躍しています。会社事業でユニークな発想として喜ばれているのが「貸家庭菜園」です。土に親しみながら野菜栽培を体験したい人達に、土地や種物、肥料を提供し、現在百家庭が利用し、秋の収穫を楽しんでいます。更に、ゴルフ場、霊園、すずらん公園を訪れる人達に滝野産のトウキビ、馬鈴薯、南瓜等を提供し、施設の誘致が活性化源となっています。

みなみハミングフェスタ'98

概要固まる

7月18日(土)・19日(日) もなみ公園



'97フェスタ芸術の森地区出店

内容再検討

市民手づくり夏祭りへ

南区の夏祭り「みなみハミングフェスタ'98」を七月十八日(土)・十九日(日)の二日間、会場を、藻南公園に移して開催することを南区連合町内会連絡協議会が決定しました。

「不景気の風：規模縮小、ハミングコンサート断念」
地域のみなさんは、今年も芸術の森で開催されるものと期待していたと思いますが、市の経費約七百五十万円をかけて、ハミングフェスタと一緒に実施しましたハミングコンサートが札幌市の都合で開催が困難になり更に、景気の低迷で広告や協賛金の収入予想が昨年より落ち込むことから、規模の縮小を余儀なくされました。

一部には廃止の意見もありましたが、昭和五十二年以来二十五年間続けてきた、伝統ある「夏祭り」を何とか、区民の手づくりで続けようとの意見が多数を占め、連町協の会議で継続が決定されました。

- 「会場を藻南公園に移して」
七月十八・十九日開催
経費が大幅に縮小されることから、昨年のような送迎バスの運行は、困難となり、会場が変更されました。
- 「前売券は五十円券十一枚綴り五百円売りとする(芸術地区割り当て四百四十枚)」
- * 各連町の芸能出物は、二つ程度とする。
- * 昨年と同じく実行委員会を結成して行う。
- * 事務局は、総務・財務会計・会場・事業部の四部構成とする。
- * 出店緑日は実行委員会直営とし女性部連絡協議会が担当する。
- * 今後具体的計画が進展する中で変わることもありませんが、現在ほぼ決まっている点は、次のとおりです。

出店女連協で 一手引き受け

やませみの眼

◆「むかつく」「ぶっつん」「きれる」
事新しい言葉でないが、パタフライナイフで他人を殺傷した中学生の言葉となると、その背景に潜む中学生の心理的なものや、切れ易い子供を育てた家庭や学校のあり方が問題となる。

◆終戦直後、社会が混乱していた時代、「やっぱ」(短刀)や「切り出しナイフ」を持ち歩く若者がいた、パタフライナイフを持ち歩く中学生の数程ではないが、結構な数だったと記憶している。

でも、やぐざは別にして普通の青少年が「やっぱ」で他人を殺したとか、「やっぱ」で強盗をした記事を見た記憶はない。

◆旧制中学校の頃、原因は忘れたが友人同士が教室で口論になり、一方が「切れ」て「肥後の守」(ナイフ)を取り出し、一瞬ためらった後、それを机に突き刺した。

緊張の糸が突然「切れ」たが鍛えられた強い理性の力で、再び「繋がった」のである。

◆若者の特権は、情熱や批判的な精神を持って、臆せず物事に立ち向かう事である。

それが社会を進展させ、進歩させたと言っても過言でない。

◆青少年が情熱や批判をぶつかけ表現する場を失い、閉塞的で窒息的な状況の中で、心の葛藤に苦しんでいるとしたら、それは、大人の責任である。

◆生徒の持ち物検査の是非や銃刀法の改正・パタフライナイフの販売禁止等、等、つけ焼き刃的と思われる議論も緊急避難上必要だが、これを契機に家庭・学校・社会が丸くなって、その根源に触れる論議を展開して欲しいものである。

充実する
町内会連合会活動
住民パワーを結集しよう
子育てと、
老後の楽しい街

10月

明常会は朗人クラブ

10月26日午前10時30分より常盤一区会館において常盤明常会の創立30周年記念式典が、藤田南区長、青木南区老連会長ほか沢山の来賓を招いて行なわれました。毎月の誕生会をはじめ舞踏、書道、ゲートボール、カラオケ、囲碁、民謡とサークル活動の他、輪投げ、環境整備の保健部活動も実施しています。歳をとってもここは若い。常に明るく朗らかに。



11月

第3回文化祭

菊薫る「文化の日」に合わせて芸術の森地区文化祭が11月2日、3日の両日、芸術の森地区会館で開催され、絵画、書道、写真、手芸品、木彫、焼物、文芸作品等々の力作が展示されました。道、市議会議員、南区長、各部長、区役所関係をはじめ一般の方々数百人を越える見学者が訪れました。



12月

たのしいもちつき

12月14日(日)午前11時から常盤児童会館の五周年記念もちつき大会が、芸術の森地区青少年育成委員会、こども会連絡協議会の共催で開催されました。ビンゴ大会、ビデオ上映会、ハンドベル発表会、おもいでアルバム写真展とお母さん、お父さんもいっしょに楽しい1日をおすごしました。



1月

注目スキー教室

1月15日、17日、18日の3日間、午前9時より2時間、芸術の森地区青少年育成委員会恒例の初心者スキー教室が行なわれました。低学年(1年生～3年生)が対象で1日52名の講習で色とりどりのウェアで元気いっぱい真剣な顔ですべっていました。



2月

雪中運動会
(見晴町内会)

仕事の忙しいお父さん、お母さんと一緒にみんなで元気に寒さをぶっ飛ばそうと、2月8日見晴ふれあい広場で雪中運動会が行なわれました。雪ふみで会場整備し、サッカー、雪合戦、カーリング、そり引、パン食いなどの競技を終って、おいしい豚汁をたべ、楽しい1日でした。



3月

スポーツ振興会

3月1日午前9時30分より芸術の森東地区スポーツ振興会の第3回雪中運動会が石山東小学校グラウンドで行なわれました。準備体操で体を解し、パン食い、そり引き、サッカー、早食い早飲み、雪合戦と町内対抗競技に汗を流し、豚汁、甘酒を飲み楽しい1日でした。



体育振興会

第7回スノーフェスティバル、雪と遊ぼう。が常盤地区体育振興会と常盤小学校PTAの主催で3月8日午前10時より常盤公園で開催されました。各単町から参加した選手たちが、綱引き、チューブすべり、シートすべり、カーリング等の競技で汗を流しました。
<焼き肉、豚汁に舌鼓>



地域に密着した、地域に貢献する企業です。
日鉄鉱業株式会社 北海道支店 常盤採石場

本 社
北海道支店
事業所

東京都千代田区丸の内2丁目3番2号(郵船ビル6F)
札幌市中央区南2条東1丁目1番14号(住友生命ビル)
札幌市南区常盤492番
TEL 011-591-8208 FAX 011-591-8235

トップニュース
 街づくり推進会議発足
 21世紀ビジョン決定
 人と自然に優しい
 文化推進の里

写真で綴る'97回顧

光陰矢の如し、1997年度も残すところわずかとなりました。12か月のできごとを、写真で綴ってみました。

最大のニュースは、街づくり推進会議の発足です。

次いで、常盤小学校PTAの文部大臣表彰受賞が上げられます。

いろんな所で紹介されました行事は割愛しました。紙面の都合で残念ながら紹介できなかった行事もあります。お許しください。

4月

平成9年度総会

4月27日午後1時30分より芸術の森地区会館において、町内会連合会の総会が開催されました。佐々木会長の後任に伊藤正、前副会長が就任、続いて藤田新区長と、市民、税務、土木、福祉の各部長ら23名の代表が参加し地区懇談会が開かれました。街づくりに全力投球すると、伊藤新会長の力強い挨拶に参加者一同大きな拍手を送りました。



5月

真駒内スキー場
山火事(演習)

5月23日午前9時30分より、大がかりな、林野火災総合訓練が行なわれました。消防航空隊、自衛隊、防災航空隊による空中消火訓練、消防署、南消防団『8分団170名参加』による消火薬使用訓練、中継遠距離放水送水訓練、警察機関による交通規制訓練と、各指揮官のもと、実戦さながら敏速な訓練がされました。



6月

街づくりスタート

6月10日午後6時30分芸術の森地区会館において、街づくり推進会議の設立総会が開催されました。各町内会長、町内会長推薦の委員、各種団体代表委員、商店街代表、学識経験者等、多くの委員が出席、連町会長の挨拶、西塚市民部長の祝辞に続き榊引氏を議長に選出し、満場一致で承認議決されました。



7月

スピードシートベルト

7月11日芸術の森地区会館前で夏の交通安全総ぐるみ運動街頭啓発が行なわれました。星重男部長を先頭に、連町理事、交通安全指導員、南交通安全協会、各学校長、交通安全母の会、南警察署関係者等、総勢70名の参加者が手に手に旗を持ちスピードダウン、シートベルト着用の呼びかけをしました。

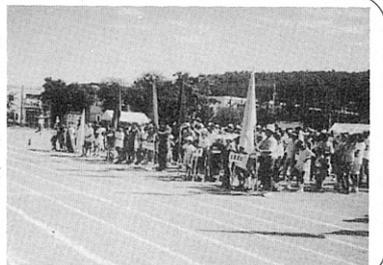


8月

夏の大運動会

8月31日午前9時より、常盤小学校グラウンドにおいて、芸術の森地区町内会連合会の

大運動会が、常盤体育振興会、芸術の森東地区スポーツ振興会の共催により開催されました。13町内が、7ブロックに分れ選手、応援団含め、800人も参加があり、青空の下でさわやかな汗を流しました。それぞれブロックが奮闘しましたが、チームワークのよかった、石山東チームが優秀な成績で優勝しました。大人も子供も沢山参加した楽しい1日でした。又来年もがんばりましょう。



9月

《区長》直ちに災害対策本部設置

9月1日午前8時50分札幌に直下型地震が発生、『震源地は石狩支庁中部で震度は6強と観測された』と想定した防災訓練が真駒内南町子供広場で行なわれました。参加協力機関は連合町内会、自主防災会、南消防団、赤十字奉仕団、建設災害防止協力会、防火管理者協議会、南警察署、水道局、環境局、南消防署であり、20団体、873人の参加でした。



永久に生きる花と緑の明るい聖地

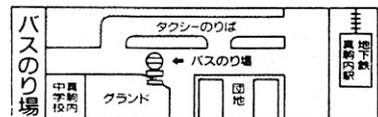
真駒内滝野霊園

札幌市許認可霊園

無料 見学・墓参バス運行中

時間 午前 10:00
 午後 12:00
 午後 2:00

※但し、毎週水曜日運休



お問合せ・お申込みは 真駒内滝野霊園事務所 ☎(011)592-1223 代

街づくり現況報告

昨年の9月9日(火)に芸術の森地区街づくり推進会議が多くの
人々の協力で誕生しました。

住民参加の行政、住民主導の街づくり、地域の顔見、個性
を持った地域づくり、等等色々な言葉が飛び交い消化に苦勞し、
手間取りましたが、何とか漕ぎ着けました。

地域にも浸透し、住民活動も芽生えてきました(例えば、駒
岡のかじかクラブの活動やスポーツ広場の造成、真駒内川探歩
会等)更に多くの芽が育つことを願っています。

今後、この面は「街づくり特集」とし、地域の皆さんの意見
を掲載しますので、投稿ください。

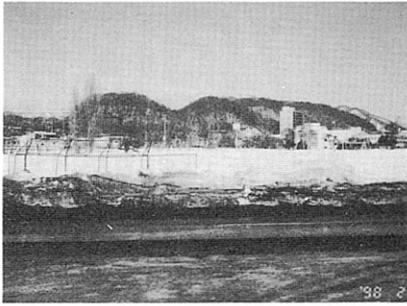
宛 先 南区石山東7丁目 芸術の森地区会館内
芸森連町広報部
問い合わせ ☎592-19220

地下鉄を陸橋まで

長野オリンピックは、皆さん
ご選手が日本中に感動と希望を
与えて終わりました。

札幌のオリンピックでは、三
本の日の丸で誇りと、静かで乗
り心地の良い地下鉄南北線の開
通が、市民の私たちに自信を持
たせてくれました。

その地下鉄南北線が開通して
既に、二十六年の歳月が過ぎま



した。当時の真駒内駅は駐車場
や、接続のための交通網も少な
く、将来は、藤野や芸術の森地
区まで延長が期待されていまし
た。
しかし昭和四十八年に起きた
オイルショックで、物価の急上
昇に伴い、建設費用と採算が問
われる時代になって延長の声は
細く、小さくなっていきました。
札幌市では平成十二年から二
十年間の「第四次札幌市長期総
合計画」を策定中です。
これには住民の参加を重視し
ています。
南区は九地区からの、町内会
連合会の提出を受けて「南区街
づくりビジョン(案)」をまと
めました。この中で、各連町の
地下鉄に関する提言の要旨は次
のとおりです。
澄川……中間駅の設置
真駒内……南町の駅延長
藻岩下……記述なし

駒岡連絡道路改良

藻岩……モノレール
石山……地下鉄延長
モノレール
芸術森……地下鉄延長
藤野……地下鉄延長
藤野……地下鉄延長
舞……地下鉄・バス
定山溪……記述なし
芸術の森地区は、交通要点的
石山陸橋付近に、多数の車両を
収容できる駐車場を備えた、地
下鉄の実現を提言しています。
さらに、沿線の輸送手段、規

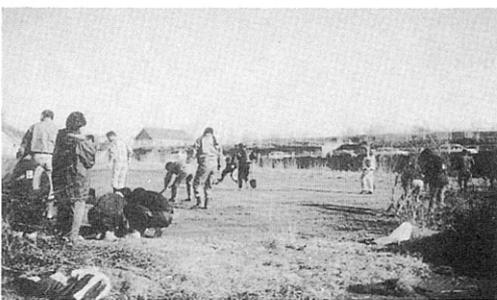
芸術の森地域の幹線道路は、
国道四五号線(支笏湖線)と
市道真駒内滝野線(駒岡線)が
あります。前者は信号機の取付
け、バスベイの設置、街灯の更
新など安全な道づくり」を
めざし、第一歩を踏み出しました。
後者は改良工事が済み、「かじ
かの棲む精進川」をめざして、
植樹もされています。
両幹線をつなぐ、石山東から駒
岡に通ずる道路を駒岡連絡道路
(旧藻南病院脇を通る)と呼ん
でおります。山を越す道路で、
道幅が狭く、カーブは急で、冬
季は閉鎖されます。
夏季はラルズマートなどで買
い物をしていった駒岡地区の皆さ
んは、冬季は真駒内商店街まで
出掛けて用を足しております。
二月三日連絡事務所で連町三
役と地元町内会長が出席して、
「駒岡連絡道路の改良に係わる
工事」の概要について、現在駒
岡地区で火山灰採取をしている
業者から説明を受けました。
その要旨は次のとおりです。
「駒岡清掃工場、真駒内川の
間、約七百米。その最高地点の
道路地域を、約二十米掘り下げ
て、約六ヘクタールから火山灰
を採取する事業です。

模などを検討する部会を、「南
区連合町内会長連絡協議会」の
中に設置することを、芸術の森
地区から提案しその具体化が進
んでいます。
地下鉄の活用は、交通ラッシュ
の解消となり、消エネ、温暖化
防止に、環境保全や健康増進に
大きく役立ちます。
新しい街づくりの一環とし地
下鉄の延長を南区の最重要課題
とすべきであります。

芸術の森スポーツ広場

火山灰は、ごみ処理場で埋立
の覆土として活用する。」計画
であります。この工事が完了し
ても、道路の勾配はゆるくなる
が、道幅やカーブは現状のまま
であります。
この道路は、芸術の森地域の
住民の心の通う道・緊急避難時
の重要な役割を持つ道路です。

スポーツ好きの子供たちにう
れしいニュースです。「芸術の
森スポーツ広場」ができました。
場所は、「アートパークタウ
ン町内会」地域で、常盤中学校
上部で眺望の良い札幌市土地
開発公社の所有地です。
一年契約ですが、更新して、
使用することができます。
借用には地元の町内会長、芸
術の森町内会連合会、常盤、芸
術の森東地区の両体育振興会、
中学校区青少年健全育成推進会
の皆様からお力から添えを頂き
ました。上段がサッカー、下段
は野球、ソフトボールです。
特に早期の使用時は喧騒にな
らないこと、子弟の送迎、応援
時の駐車は自主管理を徹底して



使用して下さい。(融雪後の整
備にご協力下さい。)



道路の拡幅、直線化、通年通行
を目標に、その達成に連町一丸
となって努力して行きます。
業者は市と調整し、認可を得
る過程で、地元の協力を求めて
くるとしています。業者から提出
された計画書、工事完成模型と
説明時の質問事項の回答書も、
連絡事務所に展示中です。
ご覧の上、ご意見を各町内会
長まで申し出て下さい。

ふれあいとくつろぎの施設

札幌市保養センター

駒岡

芸術の森地区町内会連合会の皆様に快適な憩いの場をお約束いたします。

社会福祉法人 札幌市福祉事業団 札幌市保養センター駒岡
札幌市南区真駒内600番地20 ☎583-8553



川は昔の面影を残して元気

魚が跳ねるのを首を長くして待っている

川底も岸辺も、硬・軟互層の板状堆積岩(軟石)で囲まれた真駒内川は、川岸から剥離して落ちた岩盤や屏風のようにきり立った断崖の下を川が潜り込み、

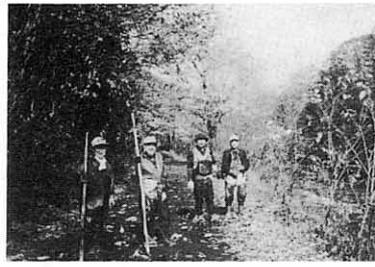
或る時は急流で激しく、或る時は淀みを穏やかに流れています。軟石を採掘し搬出した跡や水稲を栽培した跡も確認することができました。

採掘跡の岸壁に西野・東と刻まれていました。多分そこで採掘した人が刻んだのでしょう。今回は、下見でした、次回は写真や図面などの記録を残す予定です。



真駒内探渉記 自然の面影を求めて

昨年、紅葉前線が迫ってきた10月25日出真駒内川を愛する有志5人(伊藤正・中野務・櫛引清和・西野宏・高橋稀一の各氏)が真駒内川(常盤新橋=常盤小学校前~常盤橋=一号橋)を探り、川を渉る一日を楽しみました。秋晴れの、流れの少ない時期を選んでの探渉であったが、胴長を履きゴムカッパを纏い、足先に荒縄を巻きつけ、直径5~6センチ長さ3メートルの杖を構えた姿は、弁慶の出で立ちを思わせるものであります。川は、弁慶を受け入れたり、はじきだしたり、と厳しい探渉会でした。



あの町 この町

空には、秀峯空沼岳、地には清らかな真駒内川、自然環境に恵まれた我が二区は、明治三十八年に堂本駒吉氏が入植、続いて中川原兼松氏が堂本駒吉氏の小作人として開墾の跡が降ろされました。当初は真駒内御料地であり、冬期間のみ造材の業者や人夫が野宿した所でありました。伐採した原木は一号橋近く迄流送し、そこに集積したことから土場(正式名、札幌郡平岸村字土場番外地)と称されました。当時の家の造りは坪み小屋で屋根も壁も笹や茅で、床は笹の上に「むしろ」を敷き、入口には「むしろ」が下げられ、窓一つない原始的なものでした。その後農業を目的とした人々が多く入地し窓一枚丁で開墾に精を出したのです。

小溪谷を歩いて

中野 務



常盤で生まれ、育った私は、懐かしい少年の頃を回想しながら、

探渉会に参加しました。流路や淀み、そしてそれを囲む岩肌や樹木は、長い年月を経ても、記憶に残っている真駒内川そのものでした。

清冽な水の感触は、私に少年の頃の力と敏捷さを蘇らせ、倒木の丸木橋や急流も難なく渡り切ることができました。

それには、写真のように必要以上とも思える装備も幸いしてありますが、川は、神秘的で、生命に躍動と勇気を与えてくれる偉大な存在です。

芸術の森や高専への近代的な橋も自然と調和し落ち着きを見

せていました。

魚影を見かけなくなった川には、侘しさを越えて、「悲しみ」を感じました。

どじょう、かじか、うぐい、そして、やまべを早く真駒内川に取り戻したいものです。

今回の真駒内川探渉会を企画された、伊藤、高橋の両氏そして駒岡から参加された櫛引氏に、この川と共に生きてきた者として感謝を申しあげます。

常盤三代目川と共に

西野 宏



私の家は、初代が軟石彫刻家として常盤に定住し、現在四代目がコンビニを経営しています。代々農業を営んでいますが、

昭和四年、高松宮殿下来道の時、空沼岳スキー登山が行なわれ、地元馬そりで登山道まで送り大野博士先導でヒュッテ一泊、部落あげて歓迎のようすがタイムス紙上に報じられました(故桐越吉郎氏談)

水と緑に恵まれたゆとりのある里

常盤二区町内会長 杉村英紀

から、空沼岳の説明を聞いた殿下は、ヒュッテの建設が適当であると指示。

ドイツ人、ヒンデル博士七、大野博士が現地を調査した結果、万計湖畔に伊藤組がヒュッテ建設、頂上までの登山道は土場青年団が奉仕し昭和三年に突貫工事が行なわれました。

高専の開校で離農し現在地に移り住みました。

わが家は真駒内川と共に、常盤の変化を眺めて来ました。川辺に立つと、せせらぎの音が、その歴史を語りかけてきます。

今回、真駒内川探渉会に参加しましたが、子供のころの遊び場だった川は、静かな木立に囲まれ、その姿は殆ど変わっていません。通学の時命がけで渡った丸太橋は立派な釣りに生まれ変わり、それを挟んで大きな近代橋が二本架けられ、時代の流れを感じます。

軟石採掘跡の岸壁に西野と刻まれていたのは感無量でした。川に住み着いた野鳥の観察写真を撮る為の小屋跡が放置され樹木の切られた所を発見しましたが、川を傷つけるような行為は絶対に慎んでいただき、真駒内川の自然を宝として残したいと願っています。

昭和四年、高松宮殿下来道の時、空沼岳スキー登山が行なわれ、地元馬そりで登山道まで送り大野博士先導でヒュッテ一泊、部落あげて歓迎のようすがタイムス紙上に報じられました(故桐越吉郎氏談)昭和十九年「常緑樹」が多いことから現在の常盤と改称されました。昭和二十一年、町有林開拓として十一戸が入植(真駒内ゴルフ場付近)昭和二十四年には四十数戸の部落が設立され初代会長、阿部与四郎氏を中心に道路の改良をしました。澤田健治郎氏会長の時期に中央バスが導入され一日三往復が実現した時、



ご存知ですか?

医療法人 愛全会 老人保健施設

アートヒルズ

デイ・ケア(通所サービス)・ナイト・ケア(夜8:00までの通所サービス)

送迎・入浴・食事・リハビリなどを通じてみなさまの自立生活をご支援します!
●70才以上(もしくは65才以上で重度障害をお持ちの方)の方が対象となります。
痴呆や介護でお困りの方、お気軽にご相談下さい。

老人保健施設アートヒルズ ☎ 592-8500 南区石山837-47 相談員: 松永・丸山

福祉のまち推進センター概要決まる

芸術の森地区に「福祉のまち推進センター」を設立し平成十年度にスタートすることになった問題が推進するため、「社会福祉協議理事会」が去る二月二四日開かれました。推進センター開設のための学習も兼ねていたので南区福祉部長、南区社協事務局長にも出席をお願いし理事三名と共に熱心に質疑応答意見交換をしました。(1)



活動内容、(2)活動資金、(3)運営方法(4)実践町内会の事例等々多岐に亘り説明を受けました。その後、協議事項の討論に入り(一)事業の推進母体を芸術の森地区社会福祉協議会とする提案には万場一致承認され(二)設立推進のための「準備委員会」を設置するという提案に対し、開設の時期の目的は何時か、昨年「平成十年開設する」事が承認されているのに、準備行動が遅いので、準備委員は何人にする等、質疑応答の後、提案通り承認されました。今後、協議会長が理事の中から「準備委員」を委嘱しセンター設置のための協議が行われることになりました。

「設立準備委員会」では(1)会則・規約の作成、(2)組織づくり、(3)運営方法、(4)単位町内会の組織づくりへの働きかけ、(5)予算案等々重大な問題の提案を作成し、次回の理事会、又は設立総会に提出することになります。今後、「準備委員会」が活発に

滝野自然学園存続を要望

滝野自然学園(旧滝野小学校校舎)が札幌市教育委員会の野外学習充実計画実施にともない近い将来閉鎖されることになったことが判明しました。数年前、この問題が提起されてから町内会連合会として、継続運営されるよう陳情・要望等を重ねてきたのですが、その願望はかなえられませんでした。教育委員会より、滝野町内会長へ「閉鎖決定」の連絡があり、又「建築物の処理について」住民の要望があれば善処するとのことなので、滝野町内会では住民の要望を集約して、陳情をおこなおうとしています。昭和十年改築された住民

精神的に活動されることを期待しています。今回の会議の中で、石山東町内会が、前回の理事会の決定を

受け、町内会組織の中に「福祉のまち推進」を組み入れ、何時でも活動開始できる状態である事が発表され、その先行活動に敬意を表したいとともに、その母体となる社協はできるだけ早く、準備完了、出発進行の旗ふりを期待するものです。

の汗の結晶といってもいい想い出深い木造校舎の行末をいかにすべきか、何時までも存続させる方法はないものか、結論を出す時が迫っているのです。(町

連絡所嘱託職員異動
北川さん退職

連絡所で三年間勤務した、嘱託職員北川さんが退職し、後任として、藤野邦子さんが着任しました。



藤野さんは、北ノ沢に住んでおり、毎日、自家用車で通勤しています。以前、南保健所に勤務されたこともあり。趣味はテニスで何時も笑顔絶やさない明るい女性です。

▼寒さの厳しい二月でしたが長野冬季オリンピックでの日本選手団の活躍、特に北海道出身の各選手の大活躍で、感動と涙の半月があつという間にすぎ去りました。

いやな雪でなく感謝したい雪を実感させられたオリンピックでありました。

▼いろいろな会議・会合に出席して感じる事だが、主催者の挨拶や来賓の祝辞などで「昨年は暗いニュースや話題ばかりで、今年もそれを引きづって明るい見通は何もない年のようです。」という。真白い雪にお、われた住宅地を高台から眺めながら「平和だな」と思うと同時に明るいニュースが発信されることを切望しています。

▼「やませみ」の発行も今回が十号となる。初号から計画継続してきた企画の「地域を支える人」「あの町の町」の取材が大変になってきた。特に「あの町の町」は「三町内会」で終末「文化財」は人知れずねわっているものの発掘が困難で、継続が困難視されている。読者からの情報提供を願います。

▼芽えない話題の記事で恐縮の極みですが、この「やませみ」がご家庭に配布される頃は、木々の芽もふくらみ、びっかびっかのランドセルを背した新一年も姿を見せ、やさしい日差しが体中を包んでくれる春が来ます。冬から開放される喜びを明日を生きる糧として住民の皆様が生きて生活されることを心から念じております。

芸森広場

郷土の文化財

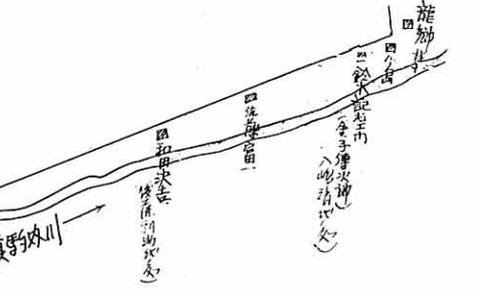
古文書

明治30年石山人家分布図 大正元年石山人家分布図について

今回は昔を偲ばず手書きの「明治三十年石山人家分布図」及び「大正元年石山人家分布図」を紹介します。

これは、昭和二三年石山小学校開校五十周年記念展示会に出品されたもので製作者は古郡春夫氏(現古郡商店の先代、当時住は石山一區在住)で大版の紙(85×57)に氏自ら調査し書かれたもので、明治・大正初期の石山小学校下の居住者の氏名が一軒一軒明記され、川、道路、馬車鉄道等も書きこまれていた。この分布図は石山市街を中心なのだが、芸術の森地区の見晴、石山東が含まれています。

居住者は五戸、大正元年に十戸だった事がわかる。芸術の森地区の石山四区(見晴、石山東)には当時からも引き継いで居住している人は皆無に近く、昔を語り継ぐものは、このような古文書に頼らざるを得ない状況となっています。幸いこの手書きの二枚の分布図は古郡氏宅で親の遺品として大切に保管されている。今回の紹介を契機として、芸術の森地区の昔を偲ばせる文化財的な文書等が出てきてくれれば幸いです。不鮮明ですがその一部を掲載しました。等大コピー版を連絡所に保管してあります。



明治30年石山東(真駒内川岸)人家分布図(5戸8家族) 古郡春雄氏作成

告知板

☆町内会配布物について
町内会をとおして、各戸にお知らせする回覧物や各戸に配布する印刷物は、必ず連絡所窓口に出してください。

無断でメールボックスに入れたものは、配布できません。政治団体や宗教団体に関するもの及び営利に関するものは町内会では取り扱えません。問い合わせや部数不足の取次のために必ず申し出て下さい。

芸森連町 総務部